

授業科目 神経系治療学実習

| | | | | |
|------------------|------|------|-------|-------|
| 【担当教員名】 高木 昭輝 | 対象学年 | 3 | 対象学科 | 理学 |
| | 開講時期 | 後 期 | 必修・選択 | 必 修 |
| | 単位数 | 1 単位 | 時間数 | 30 時間 |

<一般目標：GIO>

理学療法学が対象とする神経系障害を総合的に考え、神経生理学、神経学、理学療法の臨床の知を統合して治療計画を立てることができる。

<行動目標：SBO>

1. 基礎的な神経学的障害による運動障害について例を挙げて説明することができる。
2. 一般的な神経学的異常性について説明することができる。
3. 一般的な神経学的異常性への理学療法的アプローチを列挙することができる。
4. 一般的な神経学的異常性について、効果的な代償的手段を列挙することができる。
5. 神経学的障害に対して、広く社会参加、QOLの向上などを広範囲かつ柔軟に配慮することができる。

| 回数 | 授業計画又は学習の主題 | SBO 番号 | 学習方法・学習課題又は備考・担当教員 |
|----|---------------------------------|---------------|--------------------|
| | | | |
| 1 | オリエンテーション | | 講義 |
| 2 | 神経学的障害の治療に対する理学療法的アプローチ | 1 | 実習 |
| 3 | パーキンソン病など | 1 | 実習 |
| 4 | 脊髄小脳変性症 (1) | 1, 2 | 実習 |
| 5 | 脊髄小脳変性症 (2) | 1, 2 | 実習 |
| 6 | 筋萎縮性側索硬化症 | 1, 2, 3 | 実習 |
| 7 | 脊髄損傷 (金曜日の予定) 講義と実習 (特別講義 一日) | 1, 2, 3 | 実習 |
| 8 | 摂食・嚥下障害、失行。失認など高次脳機能障害 (1) | 1, 2, 3, 4 | 実習 |
| 9 | 摂食・嚥下障害、失行。失認など高次脳機能障害 (2) | 1, 2, 3, 4 | 実習 |
| 10 | 脳血管障害 (1) あるいは脳損傷 (急性期から在宅ケアまで) | 1, 2, 3, 4 | 実習 |
| 11 | 脳血管障害 (2) あるいは脳損傷 (急性期から在宅ケアまで) | 1, 2, 3, 4, 5 | 実習 |
| 12 | 自習 | 1, 2, 3, 4 | 自習 |
| 13 | 筋ジストロフィー症 (1) | 1, 2, 3, 4 | |
| 14 | 筋ジストロフィー症 (2) | 1, 2, 3, 4, 5 | |
| 15 | 期末試験 | | 総合的試験 |

| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格・その他> |
|--------|---|-------|--------------------------------------|--------------|
| 教科書 | 神経学的理学療法 (問題点と解決法のポイント) : Dusan Edward 著、真野行生監訳 : 医歯薬出版 : 2001年 : 4000円+税 | | | |
| 参考書 | 神経系のリハビリテーション 多重感覚治療法: Shereen D. Farber 著、平山義人、鷲田孝保監訳: 協同医書: 1987年 (図書館) 疼痛のとらえかた 理学療法MOOK 3 鈴木重行、黒川幸雄編集 : 三輪書店 : 1999年 : 3800円+税 (予定) | | | |
| その他の資料 | | | | |
| 【評価方法】 | 期末試験、授業貢献度、発表などを総合的に評価する。 | | 【履修上の留意点】 授業に対して受身にならないでほしいと思います。 | |